



1st community わたらせ “だより”

広報紙第53号

発行 古河第一地区コミュニティわたらせ
広報部会
2026.2.1
問い合わせ 0280-22-4948

厩町自治会＝上大野行政区 姉妹行政自治会締結

去る11月23日、第1地区厩町自治会と上大野行政区が姉妹行政自治会の締結を行いました。

この姉妹行政自治会とは、水害が迫った際に、浸水想定区域外行政自治会が保有するコミュニティセンターや駐車場などの施設を浸水想定区域内の行政自治会に使用の提供をしていただくものです。

施設の提供は、双方の行政自治会が個別に関係を結ぶことで成立し、古河市は関係の締結を支援します。

はなまる猫の会

2月15日 AM11:00～ コミュニティセンター出城にて開催
連絡先 080-6639-2901(竹内)



古河偉人列伝②

～古河にいた！関東の戦国武将～



～前回のおさらい～

さて「永享^{えいきょう}の乱^{らん}」「結城合戦^{ゆうきかつせん}」の後、父足利持氏^{あしかがもちうじ}の跡をつぎ、鎌倉公方となった足利成氏^{あしかがしげうじ}。しかし、補佐役である関東管領上杉憲忠^{かんとうかんれいうえすぎのりただ}とうまくいかず、憲忠を殺してしまいます。

成氏はどううごくのか…。

室町幕府との戦い 享徳^{きょうとく}の乱^{らん}

憲忠殺害をきっかけに始まった成氏と室町幕府との戦いは、関東地方の各地で行われ、約30年にも及ぶ大戦乱となりました。

成氏は年号の改元に従わないなど（＝「令和」なのに「平成」を使い続けていること）、室町幕府に抵抗を続けました。また、各地で豪族同士の争いや、上

杉氏の内乱も起こり、いわば関東は一足お先に戦国時代へ突入した様相でした。

織田信長や豊臣秀吉が登場する前から、関東地方では戦国の世に突入していたようです。

成氏 古河の地へ

元々鎌倉にいた成氏でしたが、戦況にともない、古河へ拠点を移します。

いわゆる「"古河"公方」の誕生です。

古河周辺には成氏の味方となる豪族がいたことや、河川が近く、流通や戦いに便利な地であったため、古河を選んだのではと考えられています。

成氏が来て以降、古河は約 150 年にわたり古河公方の本拠地となり、関東の要として発展していくのです。

幕府と公方、仲直り

約 30 年間余り続いたこの大乱は、「和睦」の形で終了します。

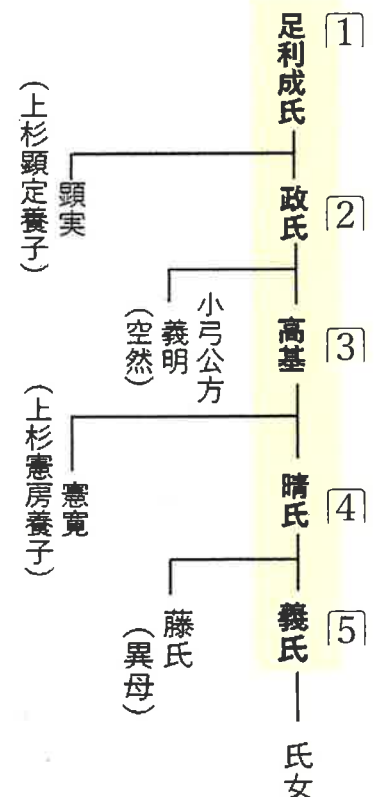
まず、成氏と関東管領上杉氏の間で和睦が成立。成氏と幕府の間を上杉氏が取り持ち、交渉がすすめられ、仲直りすることができました。

成氏は室町幕府との和睦後、息子の^{まさうじ}政氏に古河公方の座を譲り、^{めいおう}明応六年（1497）に亡くなりました。

成氏が古河に移ったことで、「古河」が歴史上の要所となったのは言うまでもないでしょう。

次回からは、成氏の跡につづく歴代公方をご紹介します！
みなさんの「推し公方」見つけてみませんか…？

古河歴史博物館 齋藤莉瑚



古河公方